

第1期末（2022年4月25日）

基準価額	6,616円
純資産総額	65億円
騰落率	△33.8%
分配金	0円

# ニッセイ 新興国テクノロジー 関連株式ファンド (資産成長型)

【愛称】 エマテック

追加型投信／海外／株式

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2021年4月30日～2022年4月25日

第1期（決算日 2022年4月25日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）」は、このたび第1期の決算を行いました。

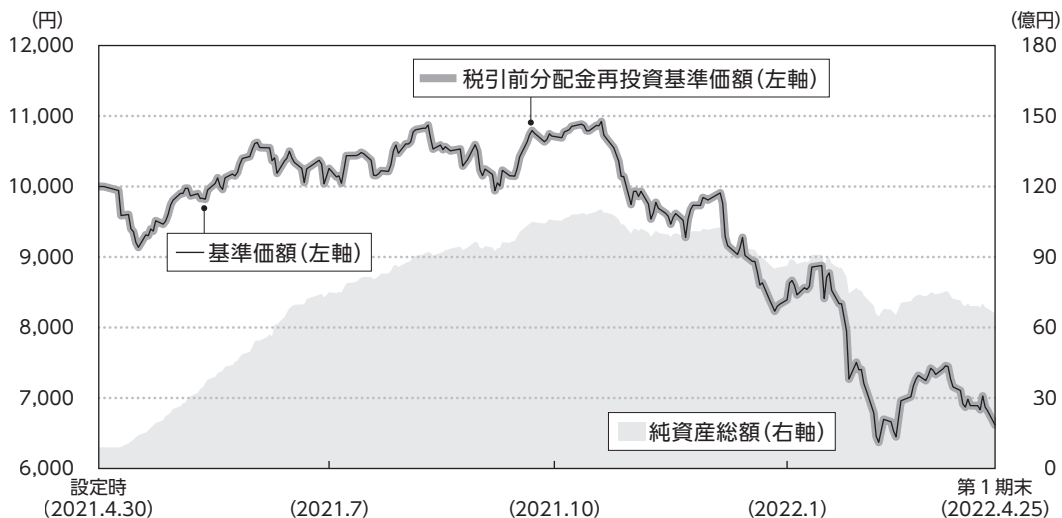
当ファンドは「TCWファンズIIーTCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド」への投資を通じて、新興国のテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2021年4月30日～2022年4月25日

## 基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	6,616円	騰落率(分配金再投資ベース)	△33.8%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2021年5月中旬以降、米金融政策に対する懸念が徐々にやわらいだことなどから投資家心理が改善し、新興国株式市場が上昇したこと
- ・ 2021年12月下旬に新型コロナウイルスの新たな変異型（オミクロン型）が世界経済に及ぼす影響について楽観的な見方が広がり、新興国株式市場が回復基調で推移したこと
- ・ 2022年3月中旬以降にロシア・ウクライナの停戦協議進展への期待感の高まりなどから、新興国株式市場が反発したこと

<下落要因>

- ・ 設定時以降、世界的なインフレ懸念の高まりから欧米長期金利が上昇し、一部のテクノロジー株を中心に新興国株式市場が下落したこと
- ・ 2021年11月下旬にオミクロン型の感染拡大に対する懸念を背景に、新興国株式市場が下落したこと
- ・ 2022年1月にロシア・ウクライナ間の地政学リスクの高まりなどを受けて、新興国株式市場が下落したこと
- ・ 2022年2月下旬から3月上旬にかけて、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新興国株式市場が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	121円	1.278%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,445円です。
(投信会社)	( 36)	(0.381)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 82)	(0.870)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.004	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	121	1.283	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

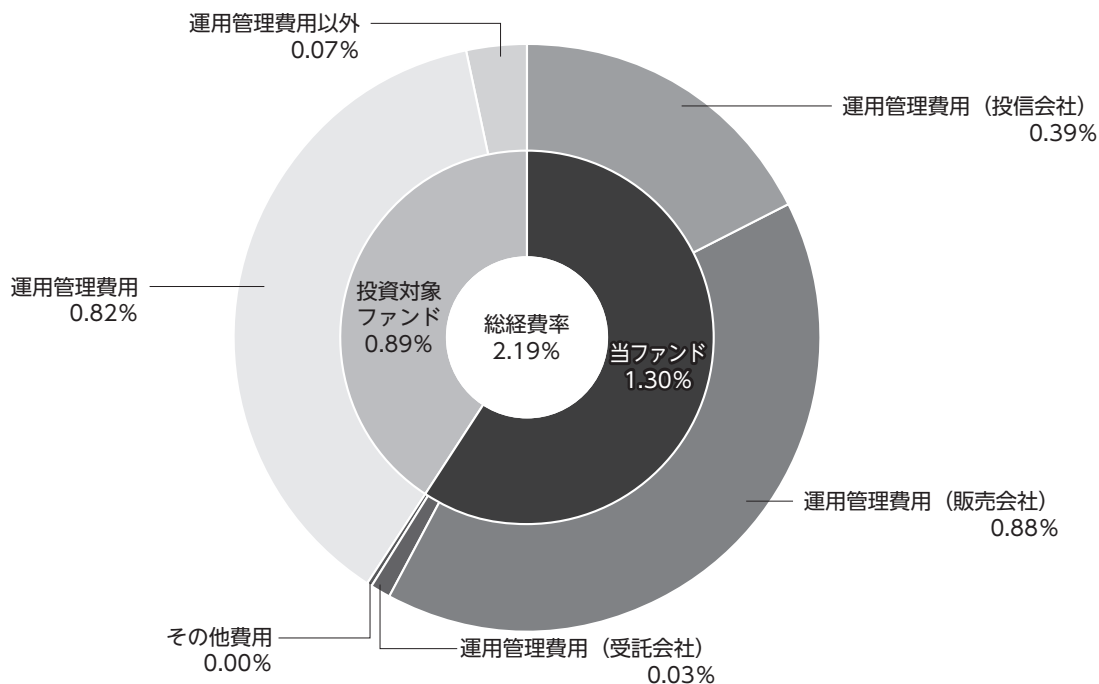
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 海外株式市況

【MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当除き、米ドルベース）の推移】



(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

当期の新興国株式市場（MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当除き、米ドルベース））は下落しました。

設定時以降、世界的なインフレ懸念の高まりから欧米長期金利が上昇し、一部のテクノロジー株を中心に下落しましたが、その後は米金融政策に対する懸念が徐々にやわらいだことなどから投資家心理が改善し株価は上昇しました。

2021年7月以降は中国当局によるネット企業への規制強化の動きなどから中国株が大きく下落したことや、中国不動産大手の債務問題を巡る懸念の高まりなどを受けて株価は下落基調で推移しました。

その後は良好な企業決算が好感されたことや、中国不動産大手の債務問題を巡る懸念の後退等により上昇する場面もありましたが、11月下旬にはオミクロン型の感染拡大に対する懸念を背景に株価は再び下落しました。

12月下旬はオミクロン型が世界経済に及ぼす影響について楽観的な見方が広がり株価は回復基調で推移しましたが、その後はロシア・ウクライナ間の地政学リスクの高まりや、2022年2月下旬には中国での新型コロナウイルスの感染拡大などを受けて株価はさらに下落しました。

3月中旬以降はロシア・ウクライナの停戦協議進展への期待感の高まりなどから株価は反発しましたが、当期末にかけては中国の主要都市でロックダウン（都市封鎖）が相次ぎ、新興国を含むグローバル景気の大規模な減速が懸念されたことから下落しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

「TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド」への投資を通じて、新興国のテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド

\*TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に新興国に所在するテクノロジー関連企業、または事業活動の中心が新興国であるテクノロジー関連企業の株式に投資しました。

銘柄選定にあたっては、優れたテクノロジーを有し、大きな利益成長と株価上昇が期待できる銘柄を厳選しました。

当期末時点における投資テーマ別配分は組入比率の高い順に、最先端技術（72.6%）、デジタル消費（23.7%）、参入障壁（3.6%）としています。

また、当期末時点における業種別配分は組入比率の高い順に、情報技術（60.7%）、一般消費財・サービス（19.7%）、資本財・サービス（8.8%）としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、台湾（33.9%）、中国（12.9%）、韓国（16.6%）としています。

（注1）比率はすべて対組入株式等評価額比です。

（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）投資テーマおよび国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、主に新興国に所在するテクノロジー関連企業、または事業活動の中心が新興国であるテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
 なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2021年4月30日～2022年4月25日	
当期分配金（税引前）		—
対基準価額比率		—
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		—

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



# 今後の運用方針

## ■当ファンド

「TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド」への投資を通じて、新興国のテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド

ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中国の「ゼロコロナ政策」によるロックダウンなど、世界の経済成長とインフレに対する不透明感は強まっており、米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な金融引き締め姿勢も相まって投資家のリスク回避姿勢は継続する可能性が高く、金融市場のボラティリティ（価格変動性）は高止まりすると見込まれます。特に米金融政策の引き締め動向が引き続き主要な要因であると判断しています。また、欧米中央銀行がインフレに着目して大幅な方向転換を模索する中にあるエネルギー価格の高騰は大きなリスクとなっている中、急速な事態変化による景気悪化リスクも高まっており、欧米中央銀行は難しいかじ取りを迫られてきていると見込まれます。一方、今回の利上げ実施の局面においても現時点では、堅調な雇用・所得環境による消費の増加や供給制約の緩和による生産活動の正常化を背景に主要企業の業績は拡大基調が続いており、不透明要素が追加で増えなければさらなる株式市場への下押し圧力は限定的であると見込んでいます。市場はボラティリティの高い状況が続くと考えますが、新興国において新型コロナウイルスの変異型の存在やその感染拡大が、あらゆる消費活動のデジタル化およびオンライン化をさらに加速させると見えています。

このような環境において、当ファンドでは引き続き新興国テクノロジー関連企業の株式の中から、優れたテクノロジーを有し、大きな利益成長と株価上昇が期待できる銘柄に厳選投資を行う方針です。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第1期末 2022年4月25日
TCWファンズⅡ－TCW 新興国次世代テクノロジー関連 株式ファンド	98.7%
ニッセイマネーマーケット マザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

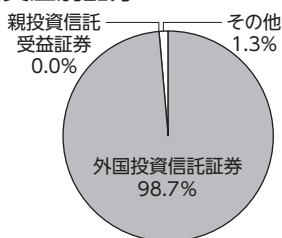
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

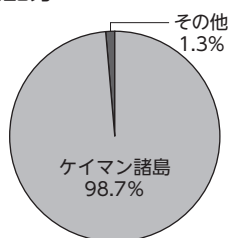
項目	第1期末 2022年4月25日
純資産総額	6,598,726,927円
受益権総口数	9,973,937,142口
1万口当たり基準価額	6,616円

(注) 当期間中における追加設定元本額は10,793,357,069円、同  
解約元本額は1,720,865,220円です。

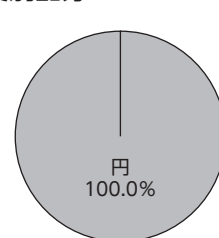
### 資産別配分



### 国別配分



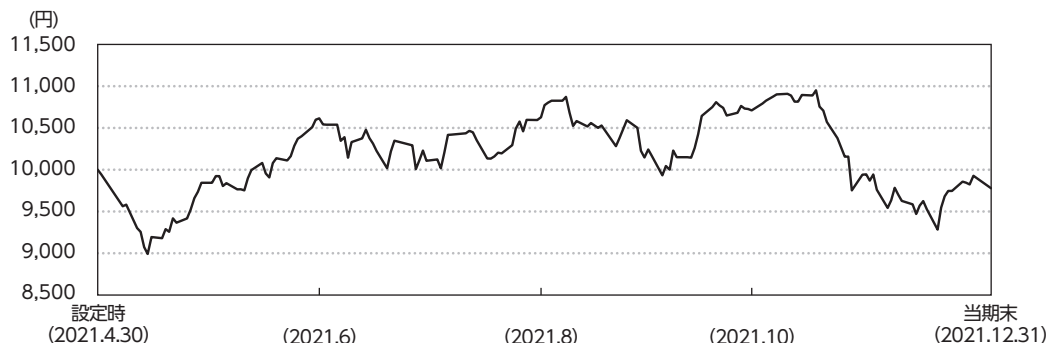
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2022年4月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンドの概要

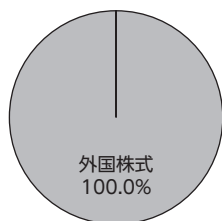
税引前分配金再投資基準価額の推移



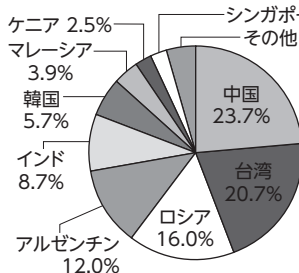
上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
MercadoLibre, Inc.	米ドル	6.9%
Tencent Holdings Ltd.	香港ドル	6.2
Infosys Limited Sponsored ADR	米ドル	5.6
Globant SA	米ドル	5.2
Yandex NV Class A	米ドル	5.1
HeadHunter Group Plc Sponsored ADR	米ドル	4.8
ASPEED Technology, Inc.	台湾ドル	4.7
TCS GROUP HOLDING PLC	米ドル	4.5
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. Sponsored ADR	米ドル	4.3
eMemory Technology, Inc.	台湾ドル	4.1
組入銘柄数		27

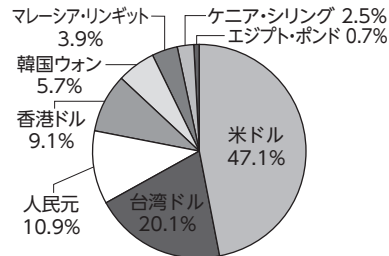
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

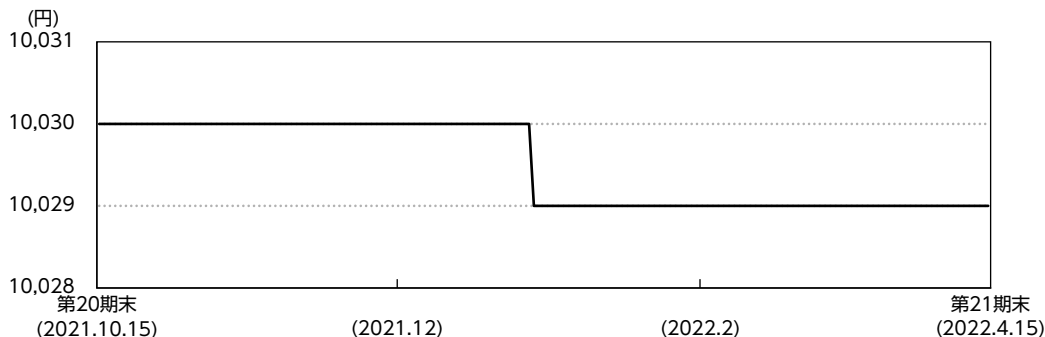
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2021年12月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

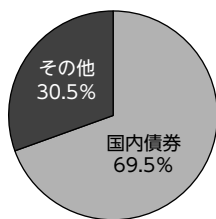
銘柄名	通貨	比率
第710回 東京都公募公債	円	29.7%
第193回 神奈川県公募公債	円	19.9
第115回 共同発行市場公募地方債	円	19.9
組入銘柄数	3	

### ■ 1万口当たりの費用明細

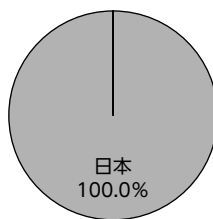
2021.10.16～2022.4.15

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

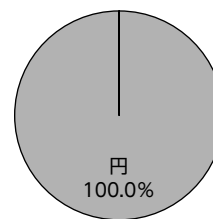
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2022年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	TCWファンズ Ⅱ-TCW 新興国次世代 テクノロジー関連 株式ファンド	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2021年4月30日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 901
1期(2022年4月25日)	6,616	0	△33.8	6,616	98.7	0.0	6,598

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズ Ⅱ-TCW 新興国次世代 テクノロジー関連 株式ファンド	債券 組入比率
(設定日)2021年4月30日	円 10,000	% -	% -	% -
5月末	9,902	△ 1.0	95.0	0.0
6月末	10,610	6.1	94.6	0.0
7月末	10,256	2.6	98.2	0.0
8月末	10,603	6.0	98.3	0.0
9月末	10,154	1.5	98.4	0.0
10月末	10,710	7.1	98.3	0.0
11月末	9,930	△ 0.7	98.3	0.0
12月末	9,808	△ 1.9	99.0	0.0
2022年1月末	8,392	△16.1	99.2	0.0
2月末	7,506	△24.9	99.0	0.0
3月末	7,391	△26.1	99.3	0.0
(期末)2022年4月25日	6,616	△33.8	98.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

## 売買および取引の状況

2021年4月30日～2022年4月25日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
T CWファンズⅡ－T CW 新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド	1,023	10,324,860	40	293,310

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	10	－	－

## 利害関係人との取引状況等

2021年4月30日～2022年4月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2022年4月25日現在

## (1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
T CWファンズⅡ－T CW 新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド	983	6,515,398	98.7
合計	983	6,515,398	98.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は50,381千口です。

## 投資信託財産の構成

2022年4月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
T CWファンズⅡ-T CW 新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド	千円 6,515,398	% 97.6
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	160,560	2.4
投資信託財産総額	6,675,968	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	6,675,968,086円
コール・ローン等	160,560,024
T CWファンズⅡ-T CW 新興国次世代テクノロジー 関連株式ファンド(評価額)	6,515,398,062
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,000
(B) 負債	77,241,159
未払解約金	20,984,356
未払信託報酬	56,076,217
その他未払費用	180,586
(C) 純資産総額(A-B)	6,598,726,927
元本	9,973,937,142
次期繰越損益金	△3,375,210,215
(D) 受益権総口数	9,973,937,142口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,616円

- (注1) 設定元本額 901,445,293円  
 期中追加設定元本額 10,793,357,069円  
 期中一部解約元本額 1,720,865,220円
- (注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,375,210,215円です。

## 損益の状況

当期 (2021年4月30日~2022年4月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 134,744円
受取利息	22,050
支払利息	△ 156,794
(B) 有価証券売買損益	△3,387,737,512
売買益	159,903,828
売買損	△3,547,641,340
(C) 信託報酬等	△ 98,357,644
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,486,229,900
(E) 追加信託差損益金*	111,019,685
(配当等相当額)	(△ 92,405)
(売買損益相当額)	( 111,112,090)
(F) 合計(D+E)	△3,375,210,215
次期繰越損益金(F)	△3,375,210,215
追加信託差損益金	111,019,685
(配当等相当額)	(△ 92,405)
(売買損益相当額)	( 111,112,090)
繰越欠損金	△3,486,229,900

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	0円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	0.00円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円



# お知らせ

## ■運用体制の変更について

運用部門については、CO-CIO（取締役執行役員、統括部長）の2名体制からCIO（取締役執行役員）1名とCO-CIO（統括部長）1名の体制に変更しました。

新たにCIOが就任し、従来のCO-CIOのうちの1名（統括部長）が、引き続きCO-CIOを務めています。

(2022年3月25日)

## ■自社による当ファンドの設定解約状況

当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
		元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	%	当初設定時における取得
50	-	50	33	0.5	

(注) 元本および評価額の単位未満は切り捨てています。なお当社は自社による当ファンドの保有分を解約することがあります。

## ■自社の実質保有比率

2022年3月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2021年4月30日～2031年4月25日	
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、新興国のテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）	「TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズⅡ－TCW新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド	新興国の株式
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

## T C WファンズⅡ－T C W新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド

以下は、「T C WファンズⅡ－T C W新興国次世代テクノロジー関連株式ファンド」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2021年12月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

### (1) 損益計算書（2021年4月30日～2021年12月31日）

	(円)
<b>投資収益</b>	
配当金	33,627,029
利息収入	565
外貨現金および外貨現金同等物からの収入	5,320,163
金融資産および金融負債の評価損益	(173,835,020)
<b>純利益（損失）合計</b>	<b>(134,887,263)</b>
<b>費用</b>	
受託者報酬および管理報酬	5,561,027
監査報酬	2,900,065
信託報酬	7,618,367
運用報酬	36,395,483
支払利息	304,142
その他費用	5,289,898
<b>営業費用合計</b>	<b>58,068,982</b>
<b>営業利益（損失）合計</b>	<b>(192,956,245)</b>
<b>税引前営業利益（損失）</b>	<b>(192,956,245)</b>
源泉税	(5,373,712)
<b>包括損益合計</b>	<b>(198,329,957)</b>

## (2) 投資有価証券明細表 (2021年12月31日現在)

## The TCW Funds II – TCW Emerging Markets Next Generation Technology Fund

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight(%)
MercadoLibre, Inc.	USD	5,476	849,289,093	6.9%
Tencent Holdings Ltd.	HKD	114,576	771,990,173	6.2%
Infosys Limited Sponsored ADR	USD	239,133	696,153,516	5.6%
Globant SA	USD	17,654	637,779,558	5.2%
Yandex NV Class A	USD	91,539	636,993,355	5.1%
HeadHunter Group Plc Sponsored ADR	USD	100,087	588,148,424	4.8%
ASPEED Technology, Inc.	TWD	39,500	585,800,800	4.7%
TCS GROUP HOLDING PLC	USD	57,051	553,308,348	4.5%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. Sponsored ADR	USD	38,811	537,068,799	4.3%
eMemory Technology, Inc.	TWD	56,000	510,182,400	4.1%
Contemporary Amperex Technology Co., Ltd. Class A	CNY	46,511	493,913,332	4.0%
NAVER Corp.	KRW	13,200	486,130,260	3.9%
Greotech Technology Bhd.	MYR	2,587,000	481,254,755	3.9%
Alchip Technologies Ltd.	TWD	113,000	479,481,600	3.9%
Wuxi Lead Intelligent Equipment Co. Ltd. Class A	CNY	351,805	472,517,106	3.8%
Silergy Corp.	TWD	22,200	464,068,800	3.8%
Global Unichip Corp.	TWD	185,000	450,985,600	3.6%
Yunnan Energy New Material Co., Ltd. Class A	CNY	85,300	385,745,707	3.1%
Reliance Industries Limited Sponsored GDR 144A	USD	51,243	376,919,373	3.0%
Meituan Class B	HKD	105,000	349,088,250	2.8%
Safaricom PLC	KES	8,010,121	309,370,634	2.5%
Sea Ltd. (Singapore) Sponsored ADR Class A	USD	11,352	292,099,722	2.4%
Arco Platform Ltd. Class A	USD	98,000	235,471,244	1.9%
Kaspi.kz JSC Sponsored GDR RegS	USD	16,600	221,482,512	1.8%
Eugene Technology Co., Ltd.	KRW	44,000	221,338,040	1.8%
Cian Plc Sponsored ADR	USD	137,800	195,427,491	1.6%
Fawry For Banking Technology And Electronic Payment	EGP	1,744,555	88,677,054	0.7%
DIVIDENDS RECEIVABLE	USD	--	2,214,066	0.0%
Accrued Foreign Dividends	KRW	--	1,155,924	0.0%

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 21 期

(計算期間：2021年10月16日～2022年4月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・ 外貨建資産への投資は行いません。



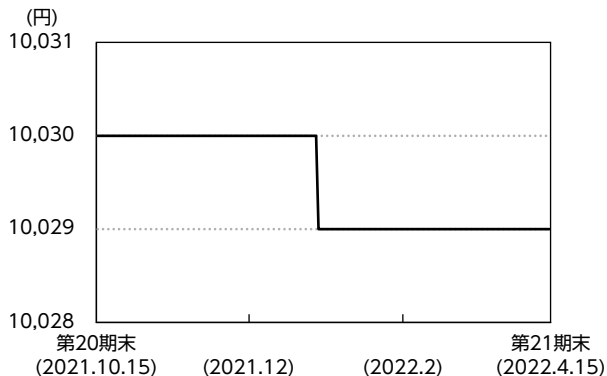
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2021年10月16日～2022年4月15日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
17期(2020年4月15日)	10,031	0.0	61.6	50
18期(2020年10月15日)	10,030	△0.0	61.6	50
19期(2021年4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期(2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期(2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2021年10月15日	10,030	—	69.5
10月末	10,030	0.0	69.5
11月末	10,030	0.0	69.6
12月末	10,030	0.0	69.5
2022年1月末	10,029	△0.0	69.6
2月末	10,029	△0.0	69.6
3月末	10,029	△0.0	69.5
(期末)2022年4月15日	10,029	△0.0	69.5

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2021年10月16日～2022年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,029円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2021年10月16日～2022年4月15日

## 公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円	千円
		20,143	— (20,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2021年10月16日～2022年4月15日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第115回 共同発行市場公募地方債	10,074	—	—
第193回 神奈川県公募公債	10,069		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。



## 組入有価証券明細表

2022年4月15日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	35,000 (35,000)	35,113 (35,113)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)
合計	35,000 (35,000)	35,113 (35,113)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第710回 東京都公募公債	0.8100	2022/6/20	15,000	15,021
	第193回 神奈川県公募公債	0.7390	2022/12/20	10,000	10,050
	第115回 共同発行市場公募地方債	0.8000	2022/10/25	10,000	10,041
	合計	—	—	—	35,113

## 投資信託財産の構成

2022年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	35,113	69.5
コール・ローン等、その他	15,415	30.5
投資信託財産総額	50,528	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月15日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>50,528,956円</b>
コ－ル・ローン等	15,364,920
公社債(評価額)	35,113,594
未収利息	45,583
前払費用	4,859
<b>(B)負債</b>	<b>19</b>
未払解約金	3
その他未払費用	16
<b>(C)純資産総額(A－B)</b>	<b>50,528,937</b>
元本	50,381,974
次期繰越損益	146,963
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>50,381,974口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,029円</b>

(注1) 期首元本額 50,382,156円  
 期中追加設定元本額 ー円  
 期中一部解約元本額 182円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,953,044円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジあり)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	9,986円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Cコース(為替ヘッジあり)	9,984円
ビムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国内不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2021年10月16日～2022年4月15日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>145,200円</b>
受取利息	149,089
支払利息	△ 3,889
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>△148,474</b>
売却損	△148,474
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 131</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 3,405</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>150,368</b>
<b>(F)合計(D+E)</b>	<b>146,963</b>
<b>次期繰越損益金(F)</b>	<b>146,963</b>

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。